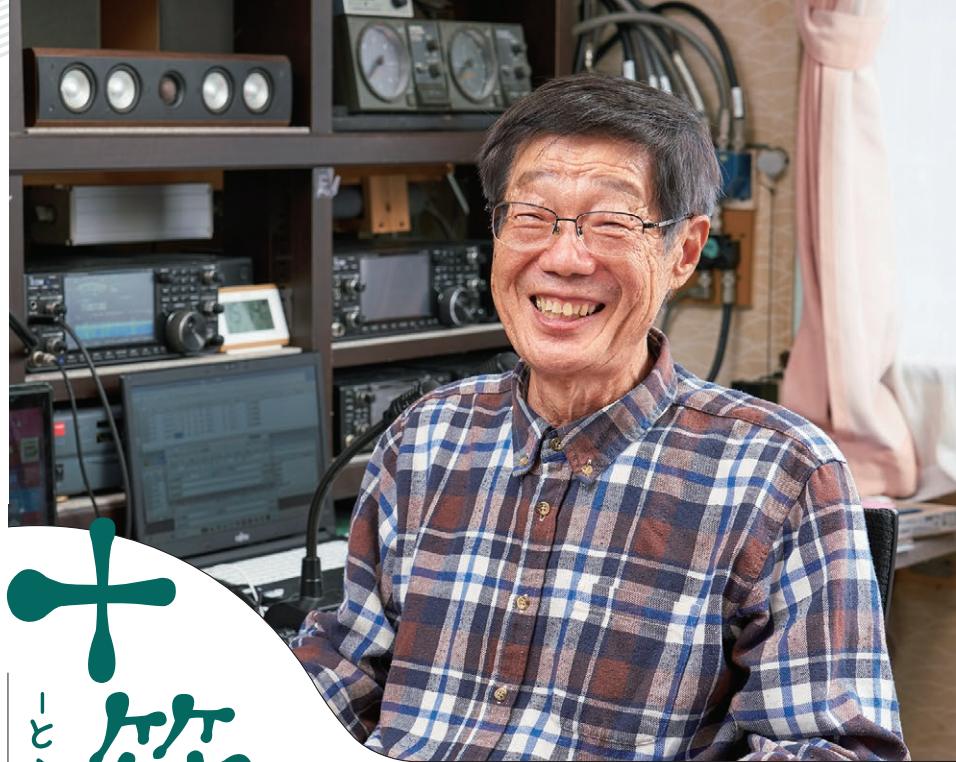




アマチュア無線・60有余年の集大成。 世界中の人とつながる無上の楽しさ。

「国内外の交信相手と交わした『交信証（QSLカード）』は15万枚以上。『JARL全日本一万局賞』、『JARL全世界一萬局賞』を受賞するには交信証の総数はもちろん指定されたエリアや国などの細かな規約をクリアする必要があり、専用の交信局



アマチュア無線フェスティバル・ハムフェア2026 総務大臣賞受賞 第一級アマチュア無線技士・第二級陸上無線技術士

たかはし しんのすけ
高橋 新之介さん

1946年栃木県大田原市生まれ。高校2年生の時にアマチュア無線を開始。東京都立本所工業高校卒業後、日本船舶通信機^{※1}に入社。1992年、長男の利府町高校編入等を契機に利府町青山に移住。株式会社NTTドコモ東北およびドコモエンジニアリング東北株式会社を経て2012年、65歳で定年退職。2026年8月の『ハムフェア2026』^{※3}において『全日本10,000局賞』^{※4}『全世界10,000局賞』^{※5}の総務大臣賞をダブル受賞。

十符人

「十符人（とふと）」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。

リストやコールエリア別累計表など膨大なリストを作成するのも一苦労でした。これまでのアマチュア無線人生の集大成ですね」と高橋新之介さん。小学6年生の頃、父にトランジスタラジオをもらい無線に興味を持ったのがきっかけで夢中になり、会社員時代を経て今日に至ります。相手の国境・世代・職業など関係なく対等に会話できる楽しさは格別です。交信する時は送信周波



熊谷大町長に表敬訪問した時の記念写真



表面に利府製や「ラブラス公園inかせぬま」などの写真を配したご自身と奥様（第3級アマチュア無線技士）の「交信証（QSLカード）」。



数の空きを確認して『CQ（シーキュー）、CQ（シーキュー）』と呼びかけ、相手の応答を待って会話します。海外の方との会話は全て英語ですが、通信内容は、コールサイン了解度・信号強度・ニックネーム・住所等の紹介で簡単です。海外の方から届く『交信証（QSLカード）』は、お国柄が出ていて面白いですよ。『無線従事者免許証』^{※7}等の取得は、はじめ無線機やアンテナ等の設備も必要ですが、とても奥が深い世界で、災害時には独立した通信手段として大きな役割を果たします。これからはアマチュア無線でしか味わえない魅力を多くの人に伝えていきたいですね」とお話いただきました。

- ※1：1952年設立の海上電話・衛星通信サービス等の先駆けとなった企業。後にドコモ・センツウ株を経て2008年に解散。衛星船舶電話はドコモ・モバイル株等、ドコモグループに引き継がれる。
- ※2：表面に自身のコールサインや好みの写真・イラスト、裏面には名前（ハンドルネーム）、交信日時、周波数、電波形式などのデータを記載した絵ハガキ大のカード。JARL会員になり交信記録を記入したカードを「QSLビューロー」へ送付すれば国内外の交信相手と無料で転送してもらえる。
- ※3：一般社団法人日本アマチュア無線連盟（JARL）が主催する国内最大級のアマチュア無線の祭典。会場は有明GYM-EX（東京）。
- ※4：JARLが発行している国内のアマチュア無線界における最高峰のアワード。
- ※5：世界200か国・ITUゾーン70以上・六大陸・南極オールクリアの超難関アワード。
- ※6：小型で持ち運びに便利な携帯型ラジオ受信機。1955年に東京通信工業（現在のソニー）が日本初の商用トランジスタラジオを発売。多くのアマチュア無線家（ハム）や電子工作少年たちがラジオの分解や自作から電子回路を学び、アマチュア無線免許を取得するのが当時の流行。
- ※7：電波法に基づいて無線設備の操作やその監督を行うために総務大臣から与えられる国家資格。

弦楽器の歴史探訪

歴史を探訪する者達よ！ いざ時の旅人とならん！



2026年11月22日（日） 開場 12:30 開演 13:00（終演 15:30 予定）

利府町文化交流センター「リフノス」 多目的ホール



白田 史郎氏
松田 敏幸氏
（イタリヤ在住）



二上りか子
ヴァイオリン



浅野 珠貴
ヴィオラ



田中 鈴
チェロ



田中 俊志
ピアノ

APACHE Piano Quartet

- 【第1部】ドヴォルザークからスカルラッティへ
- 【第2部】松田敏幸氏「弦楽器の歴史について講話」
弦楽器の発祥は？ どのように生まれたのか？
- 【第3部】ヴィヴァルディからフォーレへ

チケット 全席指定
大人 2,000 円
子ども（3歳～中学生まで）500 円

販売開始
10月11日 日
10:00～

問 文化交流センター「リフノス」 公民館・文化会館 ☎353-6114

広報りふ RIFU 令和8年11月号 No.616

編集発行/利府町企画部秘書政策課 秘書広報係

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地

☎022-767-2112 FAX022-767-2101 ✉hisyo406@rifu-cho.com

編集後記

最近、運動不足解消のためにジムに通い始めた相澤です。張り切って運動してみたはいいものの、全身筋肉痛に襲われています。これから少しずつ体力をつけられるように無理せず続けていきたいと思っています。

広報りふWEB版

